

コートレフェリー（CR）の先生方へ

岐阜県高等学校体育連盟テニス専門部

高体連のテニス競技は高校生が審判を行います。コートレフェリーに入る先生方は、下記の仕事内容を行うことで審判の手助けをしてあげてください。主役はあくまでも高校生ですので先生方は審判を守る役目であることを忘れないで下さい。

また、選手、監督、観客の目に余る言動には厳しく対処して下さい。なお、分からないことがありましたら、ご自分で判断なさらず、必ずトランシーバーで審判部の人を呼び出して下さい。

【先生方へのお願い】

1. コートレフェリーの時間割が配布されますので、ご自分の時間の2～3分前にはコートに出向いていただき、前の先生から引き継ぎ（試合状況やトラブルの有無）を行って下さい。
2. 試合開始時、終了時にはコートに出向いていただき、以下の青枠内1、3の仕事を行って下さい。
3. フットフォールトなど、審判の目に入りにくい違反行為にお気づきになりましたら、コートまで出向いていただき、主審にそのことを伝えて下さい。その上で、チェンジエンドの際、両選手を呼んで「フットフォールトがあれば主審が指摘します」と伝え、再発防止を促して下さい。
4. ストップウォッチを持っていただき、25秒ルール90秒ルールを徹底するように確認をお願いします。

【トランシーバーの使い方】

1. チャンネルは事前に設定してあるので変更せずご使用ください。（原則として3チャンネルを使用）
2. 本体側面のスイッチを押しながら話して下さい。
 - ・結果の報告の場合
学校名
または名前 スコア
CR「進行をお願いします」→進行係り「進行です」→CR「〇〇コート、〇〇 から 〇ー〇です。」
 - ・トラブルの報告の場合
CR「審判部をお願いします」→審判係り「審判部です」→CR「〇〇コート、〇〇です。対応をお願いします。」※話が終わるごとに側面のスイッチから指を話してください。スイッチを押したままだと相手が話せません。
3. 「進行（審判）了解しました」という返信が来れば報告完了です。

（コートレフェリーの仕事内容）

自分の担当するコートに関して、

1. 次の試合の選手が速やかにコートへ入り、正しい対戦・状態で試合が行われているか確認する。
2. 審判がしっかりとした判定をし、大きな声でコールしているか確認する。
3. 試合終了後、結果（スコア）を確認し審判用紙へサインして試合結果を速やかに進行担当に連絡する。
4. 選手や監督、観客が違反行為をしていないか確認し、必要に応じて警告を与える。

1の詳しい内容

1. シングルの試合ではシングルス・スティックが立っているか確認する。ダブルスの試合ではシングルス・スティックが外されているかを確認する。（コート保護のため、スティックの下にゴムシートを敷かせて下さい。ただしスティック下部がゴム質のものはシート不要。使用しないスティックは審判台の下に。）
2. 対戦相手、審判用紙に間違いがないかを選手および審判に確認する。間違いがあれば進行担当に確認する。
3. 審判、ボーラーがそろっているか確認する。（その大会の審判方式に必要な人員がそろっていれば良い）
4. 選手・監督のウェア・用具に関する違反がないかを確認する。
（ウェアはゲームシャツ、パンツ、ショーツ、スコートを着用。女子のワンピースは可。色の規制はありませんがロゴのサイズには規定があります。ラケットのストリングのロゴは認めません。また、監督もテニス競技にふさわしい服装を着用するようにご指示ください。違反がある場合はすぐに着替えさせてから試合を開始させてください。）
5. ゲーム進行がスコアボードで表示されているか確認する。
（試合が始まる時点までにゲーム数を「0-0」にさせて下さい。副審がつく試合は副審の仕事となります。）

2の詳しい内容

1. 審判の健康状態を把握しておく。変更が必要ならトランシーバーで審判部にその旨を伝え、代わりを出してもらうように要請する。(誤審が続く、確認したところ体調不良が原因だったという例もあります。)
2. 判定に関して以下の点をチェックする。
 - (1) ポイントが決まったら直ちに大きな声でアナウンスしているか？
(声が聞き取れず、プレーが止まらない場合などは審判台のそばに行って審判に大きな声を出すよう指導して下さい)
 - (2) 選手間のトラブルを解決しているか？
(選手がもめている場合はコートに出向き、主審から事情を聞き試合を再開する手助けをして下さい。判定は主審の判定を尊重して下さい。主審に対して選手が不信感を抱かぬよう対応してあげて下さい)
 - (3) インプレー中のレットを取っているか？
(プレー中に隣のコートからボールが入ってきたら、主審の「レット」のコールでプレーを止め、ファーストサービスからやり直します。選手がボールや帽子を落とした場合は「レット」をコールした上で、1回目は警告、2回目以降は失点となることを選手に伝えてください)
 - (4) 25秒(ポイント間)・90秒(チェンジエンド)のルールを守っているか？
(主審は必ず手元にストップウォッチを持ち、時間を計る。計っていない場合は審判に指導して下さい。また、個人戦の1ゲーム目終了後のチェンジエンド時は速やかにエンドを交替する)

3の詳しい内容

試合終了後、速やかに下記の2点を行って下さい。

- (1) 審判用紙の確認・・・試合終了後、審判用紙が正確に記入されているか確認し、コートレフェリーの欄へサインをする。
- (2) 試合終了の報告・・・トランシーバーで進行担当を呼び出し、何番コートの誰(勝者)が、いくつ(終了スコア)で勝ったかを伝える。
(トランシーバーの使い方は表面を参照して下さい)

4の詳しい内容

以下のような違反行為がありましたら、審判部に確認の上、警告・指導をお願いします

1. 選手・・・遅刻、ラケットの乱用、ボールの乱用、言葉の乱用、携帯電話の作動(電源を切らせること)、自然的体力消耗に基づく遅延行為などです。
 - ①遅刻に気づいた時点から時間を計って下さい。15分を超えた時点で失格となります。ただし、失格の判断はレフェリーが行います。審判部を呼び出してください。
 - ②ラケットやボールを地面にたたきつける行為は警告対象となります。なおラケットやボールを対戦相手や審判に投げつけたり、ラケットで器物を破損した場合などは失格の対象行為です。
 - ③足の痙攣等でプレーが困難な選手が遅延行為を行った場合(ポイント間25秒、チェンジエンド90秒)はプレーを始めるよう警告・指導を続けてください。なお、ひどい怪我や過呼吸などプレーの続行が難しそうな場合は審判長を呼び出してください。棄権の意思確認は大会レフェリーが行います。
 - ④監督や他の選手が試合中の選手に手を触れた場合は、選手が失格となります。選手がベンチに戻ってきた場合にのみ選手に触ることができます。ただし、ダブルスの試合の場合、ペアがさわることは可能です。
2. 監督・・・コーチング違反(選手チェンジエンド時以外の助言、携帯電話の作動)です。
(審判では注意できませんので、先生方から注意をお願いします。悪質な場合は審判部に連絡して下さい)
3. 観客・・・不適切な応援(相手選手への誹謗中傷、コーチング違反)です。
(審判では注意できませんので、先生方から注意をお願いします。悪質な場合は審判部に連絡して下さい)

～お困りのことがありましたら、遠慮なく審判部へお問い合わせください～